

福岡県立小倉南高等学校

南薫会会報

第5号 令和4年4月8日発行
 発行者 福岡県立小倉南高等学校南薫会
 事務局 会長 福田 太郎
 北九州市小倉南区富士見1-9-1
 (小倉南高等学校内)
 電話(093)923-3731
 FAX(093)981-9758
 E-mail nankunkai@ori.bbiiq.jp



会長 福田 太郎
昭和52年卒

ご挨拶

新型コロナウイルス感染拡大というこれまで経験したことがない状況下で、会員の皆様におかれましては、ご苦勞も多いかと拝察いたしております。

昨年度に引き続き今年度の総会も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、皆様の健康と安全を最優先とし、多人数の方が集まることを避けやむなく中止とさせていただきます。6月5日の幹事会で、規約改正・会計の見直し等の議案につきましては、決議（決議内容については、ホームページに掲載）を行いました。

また今年度も、多くの皆様に協賛広告を出していただきました。改めまして当番期の皆さん、広告を掲載していただいた皆様のご支援とご協力に心より感謝申し上げます。

「会員相互の親睦を図るとともに、本校の発展に寄与する」という同窓会の目的も、コロナ禍の完全終息の見通しが立たない中、思うように活動が出来ていないのも事実です。

そこで、学校・PTA・同窓会三者の連携が必要だと考え、10月に三者による意見交換会を開かせていただきました。その中で出たキャリア教育「夢授業」に元教諭と同窓生7名が講師として参加しました。

大切なことは、コロナ禍における同窓会活動のあり方だと思います。大勢で密に会えない今、メール・LINE・facebook等を駆使して繋がりを作っていただけならと思います。役員会等の会議もオンラインで実施を試み始めました。

昨年も話しましたが、これからは新しい情報をいち早く皆様に発信し、伝えていくとともに、多くの皆様と協力しながら同窓会の在り方を考えていく時代だと思います。そのためにも皆様のご理解・ご協力が今以上に必要になってきます。皆様のご指導・ご鞭撻をお願いいたします。

最後になりましたが、皆様のご健康とご多幸を祈念いたしますとともに、マスクなしでお目にかかれる日が来るのを楽しみにしまして挨拶といたします。

令和4年度 南薫会 総会・懇親会について

本部南薫会総会・懇親会は、平成2年卒業生を筆頭当番幹事として開催予定です。

開催日時 令和4年8月21日(日) 11:00~13:00 受付10:00~
 会費 5,000円、3,000円(25歳以下又は70歳以上)
 場所 リーガロイヤルホテル小倉 3Fエンパイアルーム
 ※開催、変更・中止等のお知らせは、ホームページに掲載。

支部紹介

北九州市役所南薫会

支部長 さから あきお 相良 明夫 (S55年卒)
 連絡先
 市役所南薫会幹事長 大江 浩 (S55年卒)
 自宅 〒800-0205
 北九州市小倉南区沼南町2-12-5
 Tel 090-1080-9579
 総会・懇親会は、毎年11月に開催
 日時は、決定後、南薫会HPに掲載

※北九州市役所(行政・病院・消防)・
 外郭団体に勤務した方、現在勤務さ
 れている方は、奮ってご参加下さい。
 お待ちいたしております。

南薫会関東支部

支部長 はやかわ いしお 早川 五四男 (S41年卒)
 連絡先
 関東支部事務局 児森 進作 (S37年卒)
 自宅 〒343-0041
 越谷市千間台西3-2-301
 E-mail :
 childwood-saku439@nifty.com

関東支部総会は、令和5年に開催予定。
 日時は、決定後、南薫会HPに掲載
 多数の参加をお待ちしております。

南薫会関西支部

支部長 いとう ふみひろ 伊藤 文博 (S55年卒)
 連絡先
 関西支部事務局 伊藤自宅
 〒524-0037
 滋賀県守山市梅田町5-1
 藤和ハイタウン守山901号

関西支部総会は、令和4年開催予定。
 日時は、決定後、南薫会HPに掲載
 お誘い併せてご参加下さい。
 関西地区に住所移動の方は、上記
 伊藤まで、お知らせ下さい。

学校だより

「悪戦苦闘」する南高生、未来をつかめ！

第40代校長 小林 裕幸



校長 小林 裕幸

令和3年度も昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響下での教育活動となりました。全日制では1学期、緊急事態宣言が発令されたこともあり、体育大会、クラスマッチ、对小倉商業高校定期野球大会は中止せざるをえませんでした。解除後の7月には、第3学年特別行事（朝倉・太宰府1日研修）、2学期には感染が少し収まり、10月には南薫祭（無観客1日開催）や2学年折々の言葉コンテスト（朝日新聞の協力によるプレゼン力の育成）、12月には1学年ウインタースクール（北九州大学、九州工業大学での授業体験）等、感染対策を十分に行いながら多くの学校行事を実施することができました。年が明けた3学期はオミクロン株の猛威による第6波が急激に押し寄せてきましたが、1月の2学年修学旅行（新潟スキー及び東京研修）はコロナ警報が発令される前であり、なんとか実施することができました。東京では人との接触をしないよう内容を変更するなど感染対策を万全にしましたので修学旅行中は発熱者もなく、生徒にとっても思い出に残る良い修学旅行になったと思います。定時制の学校行事については、日程を変更するなどの対応をすることで、体育大会、文化発表会、3学年修学旅行（宮崎・鹿児島）、映画教室、1・2学年スキー教室等、多くの行事を実施すること

ことができました。しかし、2月に計画していた4学年修学旅行（昨年度は中止）が感染拡大の為、実施できなかったことは残念でなりません。

また、1月末には高架水槽の破損のためトイレ・水道（一部除く）と食堂が使えなくなるという事態になり、全日制では1・2学年を急遽オンライン&分散授業に変更、定時制では給食を弁当に変更する等の対応を強いられました。再開まで約3週間かかりましたが、先生方が臨機応変に対応し生徒のことを第一に考え、様々なアイデアを出し協働しながら熱心に取り組んでいただいたこともあり、大きな混乱もなく教育活動を実施できました。

こういう、計画した通りに行かない、先を見通すのが難しい、何が起るか分からない状況の中、本校の生徒達は「悪戦苦闘」し変化に対応しながら、自分たちに出来ることを最大限に取り組み、未来をつかむ進路実現のために勉学に部活動に本当によく頑張っています。部活動では、全日制の水泳部が九州大会、全国大会の出場を果たし、定時制でも卓球部、陸上部が全国大会に出場しています。進路実績での躍進も目を見張るものがあります。

私は校長として、令和3年度の1年間、式等をとおして、自分自身で「感じ、考え、行動する」、その土台として「自他を大切にすること」が必要であるということや、困難に出会ったときに、勇気を持って立ち向かい、学んだ知識・技能から様々なことを考え、工夫し、時には友と手を取り、困難を乗り越えていく力がこれからの社会で必要不可欠であり、在学中に「自主・創造・親愛」の校訓の下、この力をしっかりと身につけ、自信を持ってそれぞれの道を歩んでもらいたいということを伝えてきました。

本校の校章は南十字星が図案として作成されており、「前途多難な人生行路に向かわんとする若人に、希望の進路を与えんこと」を念願しています。本校で学んだ生徒一人ひとりが、それぞれの人生行路において素晴らしい航海をし、素晴らしい未来をつかむことができることを願います。

最後になりますが、日々、充実した教育活動が行えますのも、南薫会の皆様から物心両面に渡るご支援とご協力のおかげです。感謝申し上げます。今後も、「悪戦苦闘」する南高生に変わらぬご声援をよろしくお願いいたします。

祝 全国高等学校総合体育大会出場

令和3年度全国高等学校総合体育大会に全日制水泳部、定時制陸上部・卓球部が出場しました。

全日制：水泳部

女子50M自由形 池崎 心春（1年）

定時制：陸上部

男子砲丸投 茶園 光輝（4年）

男子400MH・男子砲丸投 才津 日那太（3年）

男子走幅跳・男子三段跳 内藤 和八（3年）

男子400MH・男子円盤投 藤本 樹（1年）

卓球部

男子シングルス 山田 明次（3年）



※南薫会では、事業の一環で全国大会出場者にお祝いを贈らせて頂いています。

内藤さんは、三段跳と4×100mRでどちらも第6位入賞、藤本さんは、4×400mRで第7位入賞という好成績を収めました。

語り 継ぐ



あれから27年

(阪神大地震 平成 17 年 1 月 17 日)

本校の多目的ホールに掲げている 6 枚の額装されたモザイク画は、昭和 16 年卒の箕浦廉さんの寄贈物です。

平成 17 年 1 月 17 日、マグニチュード 7.3 という想像も出来ない大地震が兵庫県南部に発生しました。

会員の皆様の安否を心配して、本部より被害状況調査を開始して、お見舞い金をご送付させて戴きました。多くの方から御礼の電話や手紙を戴きました。その中の 1 通に箕浦廉さんの「棟方志功の版画釈迦十大弟子を素にしたガラスモザイクの作品(箕浦廉さん作成)があります。50 号 6 枚(全部並べると縦約 120 cm 横 550 cm)です。学校に寄贈したいのですが受け取って戴けるでしょうか。私は、身体都合で旅行が出来ませんので、九州まで行けません。せめて作品だけでもと思っています。」という内容に 6 枚の写真が添えられていました。創立 90 周年並びに体育館落成のお祝いに戴くこととなり、多目的ホールが出来てやっと、皆さんに見て戴いているところです。先輩のお心を大事にしていきたいと考える次第です。(上は、送られてきた 6 枚の写真。下は、額装され、ホールに掲げているモザイク画)



戦後 76 年 戦時下の学生生活を語る

令和 3 年 7 月、学校に日本農業新聞社から取材依頼の電話が入りました。

昭和 20 年卒の畠中孝好・藤井佳晴両氏にその旨をお伝えすると、自分たちで良ければと快諾していただきました。ご高齢なので心配しましたが、7 月 29 日(木)午後 1 時 30 分頃から 3 時間位、長くなりましたが元気に取材を終えました。その内容は、日本農業新聞の令和 3 年 8 月 9 日と 11 日の 2 回に分けて掲載されました。

先輩方は、「NO」と言えない時代でしたが自分の意思を持って伝えることが大事。

戦争は絶対にしてはいけない!

学徒援農: 農家の働き手が兵隊にとられるなど

深刻な労働不足解消や食糧増産のため、農業学校生を中心に北海道で農作業に従事した国策。1943 年から 45 年にかけて、全国から約 20 万人の学生が農作業に従事したと言われている。



(援農記念碑の前で 藤井・畠中氏)

義援金(災害お見舞い)

東日本大震災(平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震と、それに伴って発生した津波及びその後の余震により引き起こされた大規模地震災害)は、未曾有の大惨事となりました。

南薫会では、平成 23 年 10 月の関東支部総会の後、松井会長・西川校長をはじめ、役員有志で宮城県まで赴き、直接、村井宮城県知事にお目にかかり、生徒達の応援メッセージの色紙や募金で集めたお見舞い金を手渡しました。

勿論、南薫会からの募金もお渡ししました。南薫会からは、平成 23 年から平成 27 年迄 5 年間継続して募金活動を続け、応援させて戴きました。熊本地震災害時にも義援金や有志による物品を届けてました。



今昔 南高のいま

キャリア教育「夢授業」

「夢授業」とは、北九州キャリア教育研究会と学校が企画して、後輩の皆さんに「様々な職業人と出会い、職業観を芽生えさせ、育てることで将来へ希望を持たせる。また、将来の進路について考えることで、今何をすべきかの気付きを与える」ことを目的としています。会として賛同し、同窓生7人のご協力を得ました！



(講師紹介を受ける生徒の皆さん)



(浜野氏)



(体育館一杯に広がって)



(岡本氏)

生徒は各職業人のブースを回り、話を聞く。



(橋本氏)

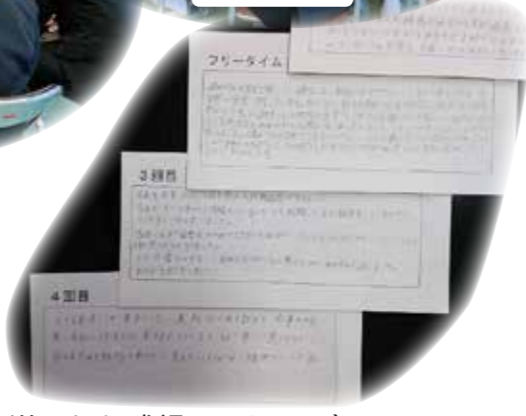


(嶋田氏)

(沖本氏)



(講師50人と質疑応答)



(生徒から送られた感想メッセージ)

7人の講師紹介!!



橋本 昭雄
昭和39年卒
柔道部
ボランティア活動
紫川を愛する会会長



浜野 一俊
昭和47年卒
応援団
会社経営



沖本 博泰
昭和50年卒
野球部
会社役員



中 晶子
昭和52年卒
バトン部・水泳部
コンサルタント会社経営



岡本 広治
昭和56年卒
一級建築士
会社経営



嶋田 志乃武
昭和57年卒
会社経営



尾崎 一弥
平成6年 小倉南高校卒(野球部)
1993年夏福岡大会ベスト16
平成10年 九州共立大学卒(野球部)
全日本大学野球選手権3回出場
(2~4年時)
平成10年 福岡小松フォークリフト(株)入社
現在、北九州支店 支店長

凡事徹底

昨年12月15日に南高1年生の生徒を対象に実施された「夢授業」へ職業人講師として参加いたしました。

お世話になった林昭彦先生からの依頼という事もありご辞退する選択肢が無かった事と半分は我が子と同じ世代の子供たちがどんな夢を持っているのに興味がありお引き受けいたしました。

私の仕事は物流・製造の現場で使用される「荷役機器(フォークリフト)」を販売する仕事です。生徒には決してこの仕事がやりたくて就いた職業では無いという話をいたしました。

「夢授業」で夢の無い話しをしてしまったかなと少し反省しています。

私が高校生の頃は大好きな野球をずっと続けたい、続けられると安易に考え自分の将来を真剣に考える力が無かった様に思います。

生徒の中には「外交官になるために勉強しています」「留学して語学の勉強をしたい」とはっきり目標に向かっていく子供に出会い、自分の無策だった

頃が恥ずかしくもなりましたが真っすぐな目に元気をもらいました。

私と会社の縁は「挫折」です。岐阜県の野球部のある会社から内定を受けていましたが先方都合で新規採用を見送られました。野球を続けられなくなる現実を受け止め就職活動をしてとりあえず入社した会社です。

やりたい職種ではありませんでしたが「営業」という仕事を通じて「人とのつながり」を強く意識する様になり大切にしています。今は人との出会いや地域に密着した仕事ができる事にやりがいを感じています。

「夢授業」で伝えたいこととして 凡事徹底：平凡で当たり前な事を徹底してやり続けることが最終的に非凡な成果をもたらすこと。

この先、大学受験や就職などで希望する道に進めなくて「挫折」を経験しても「自分が置かれた状況を客観的に受け止め、今の自分に何が出来るのか、出来る事から一つずつやり続けることで成長していくはずだ、挫折してから勝負だ」と熱く強く伝えたいつもりです。

職業人講師をするにあたり前日に自宅でリハーサルを実施したことで、我が子3人(中3娘、中1息子、小5娘)に対し初めて自分自身の会社のことや仕事内容、この職業に就いた縁、やりがいなどの話しをしました。子供たちも真剣に聞いてくれて我が子に対してもメッセージを発信する貴重な機会となり大変感謝しています。

今後も南高のOBのひとりとして南高会の皆様とのつながりを大切にしていきたいと思っています。

(尾崎 一弥)

初の試みで開催した学年主任の出口教諭は

『夢授業』の実施にあたり、「働く」ということについて考えさせたところ、「大変そう」「自由がない」などの意見が多くある一方、なぜ働くのかについては「人の役に立つ」「社会に貢献する」などの意見がありました。今回、実際に社会で仕事をしている職業人の方から話を聴くことで、より現実的なこととして「働く」ということを感じられたのではないかと思います。ご協力いただいた卒業生の先輩方、ありがとうございました。と感想を寄せられました。

世界に羽ばたく北九州

世界体操(10月8日~24日) / 世界新体操(10月27日~31日)KITAKYUSHU2021



この北九州の地で同時開催されたのは史上初でした。競技結果は皆さまご存じなので、ここでは特筆すべき事として、国際体操連盟と北九州市が「SDGs」を推進する社会貢献型スポーツイベントへの変革に挑戦。

「SDGs 未来都市」としての情報発信や市の強みを活かした取組の数々。

- ・クリーンエネルギー、燃料電池バスによる輸送事業
- ・リサイクルステーション活用でゴミの大幅な削減
- ・資源化物による記念品(メダル)の制作
- ・ロボットによるメダル授与から介護ロボットによるアシスト



(会場の総合体育館)

市民によるおもてなし

「みんなで応援プロジェクト」が大会を盛り上げ大会開催期間中“竹灯籠”イベントが実施され、世界のアスリート達に高く評価された。

「若戸大橋」が国文化財指定・登録が決定！！(2021年11月)

船上から楽しむ北九州夜景観賞クルーズに12月寒風の中乗船。旧八幡製鉄所を中心とした工場群を見ながらライトアップされた真っ赤の吊り橋が目飛び込んでくる。1962年(昭和37年)東洋の夢の吊り橋と呼ばれ、その技術が後の関門橋や明石海峡大橋などの建設に生かされているとの事！！初めて聞くガイドさんの話が新鮮で楽しいひと時でした。ちなみに、現在は若戸大橋は無料化されております。



(クルーズ船りゅうぐん)

幻想的に放たれる煌びやかな灯りは船上ならではでした



(全長627mの若戸大橋)



(船上からの夜景)

今の平尾台

FOREST CAMP KOKURA



平尾台と言えば青い空と緑の草原のコントラストが美しいカルスト台地、それと国の天然記念物にも指定されている「千仏鍾乳洞」一度や二度、皆さんも足を運んだ覚えがあると思います。国指定公園である中に「グランピング」という宿泊施設や陶芸が学べる工房や音楽堂など、自然を満喫しながら楽しめる施設がオープン

新しいキャンプスタイル“グランピング”は豪華なテントで快適なアウトドアを味わうことはもちろん、ここにしかない雰囲気での食事と満点の星空を独り占めに出来ることです！！

小倉イルミネーション“光”が年々進化

小倉駅周辺や市庁舎近辺、紫川河畔など小倉の夜を色とりどりのイルミネーションが明るく輝き市民を楽しませてくれています。今年も鷗外橋のイルミネーショントンネルの天井に設置したLEDビジョンの画像を季節にあわせて変化！！当地にお住いの方は必見ですよ！



(小倉城と井筒屋を結ぶ橋)

第3回小倉城竹あかり

小倉城において3万個以上にのぼるキャンドルを灯す竹あかりイベント。今年も天気にも恵まれ、コロナ対策も万全の中実施されました。「人と人の心を繋ぎたい」をモットーに継続中。大和言葉の中に“あたらよ”って言葉があります。明けるのが惜しいくらいに美しい夜という意味だと！！ライトアップされた小倉城に映える月と竹あかりはまさに“あたらよ”って叫びたい！！

「百年庭園の宿 翠水(旧 旅館田川 離れ)」の国文化財指定・登録が決定！！



(離れの翠水)



(翠水へ続く渡り廊下)

同窓生 紹介



昭和52年卒 中 昌子氏

「感謝！！小倉南高校で人生の土台づくり」

「玉磨かざれば光なし」高一の一学期の成績表に担任の丸林一茂先生（担当教科古文）が書いて下さったコメントです。そして、次のような説明書きがありました。「どんな宝石も磨かなければ美しく光ることはない。榎本さんはダイヤモンドの原石なのだから、今後益々、切磋琢磨して自分の可能性をどんどん広げてください」元々、良い思い込みをする習慣があった私は「私ってダイヤモンドの原石なんだ！やればできる子なんだ！！」と先生の一言で、全力投球モードに切り替わったのでした。

部活は水泳部とバトン部の掛けもち。県大会に出場し、久留米プリチストンプールで泳ぎ、新入生歓迎会は到津遊園地のステージ、文化祭は体育館のステージで踊り、体育祭ではプラスバンド部と行進。野球部のおかげで、甲子園でチアガールも！2年生になると生徒会長からの推薦で、生徒会の体育副委員長にもなり、生徒会の行事はもちろん、寒稽古とクラスマッチの運営、体育祭準備委員会のメンバー達と体育祭の企画・運営。そんななか、勉強も常に学年10番以内で！と書きたいところですが、勉強はそれなりに頑張りました（笑）まさに笑えるほど毎日全力投球！そのおかげで青春を謳歌することができました。私が、そんなわくわくな3年間を過ごすことができたのはひとえに、「人との出会い」のおかげだと感謝しています。他の学年の先生方からも目をかけていただき、ご指導いただきましたし、何よりもクラスの友達、部活や生徒会の先輩、同級生、後輩と、素敵なメンバーにも恵まれました。「生涯の親友」といえる友人達に出会えたのも大きな財産です。今でも私にとって心強い支えです。

そして、私の人生の土台（あり方）を小倉南高校での3年間で築けたと言っても過言ではありません。幸せに生きていく上でとても大切なことを学び、培うことができました。

私は今、「わくわく社員増殖コンサルタント®」として人材育成をしています。プロ意識と使命感をもって主体的に働く「わくわく社員」を企業内に増やし、日本を明るく元気にするという志で、全国の様々な業種の企業で社員教育をおこなっています。南高時代に培った「わくわくする力・行動力・チャレンジ精神・プラス思考力・チームワーク等」の大切さを伝え、やりがいや働く喜びを持って、いきいきわくわくと働く人を増やすことに全力投球しています。

先日、南高1年生のキャリア教育・夢授業の職業人講師として参加する機会を頂きました。「失敗を恐れず、目の前のことに全力で取り組みたい」「可能性は無限大という言葉が心に残った」等と後輩達から前向きな感想をもらい、少しは恩返しが出来たかな？と嬉しくなりましたが、まだまだ足りませんね。

小倉南高校に進学していなければ、今の私はなかったことでしょう。感謝の気持ちを胸に、これからも「わくわく社員増殖コンサルタント®」として磨きをかけ、全力投球したいと思います。“今日も笑顔で！わくわくと！！”

【訃報】同窓会前会長の松井 四郎氏(昭和 39 年卒)が逝去されました



令和3年3月17日（水）、福岡県立小倉南高等学校同窓会南薫会前会長の松井 四郎氏が逝去されました。

松井氏は、同窓会長(平成18年～平成30年)や、父母教師会長(平成7年度～平成8年度)を歴任され、同窓会と母校の発展に貢献されました。

平成元年に南薫会役員の本部幹事となり、その後、書記、幹事長等を経験。平成18年からの13年間、第5代南薫会会長として活躍されました。その間、平成20年の関西支部設立、戦時中の援農先である北海道浦河町との交流、東日本大震災における宮城県への義援金活動などにご尽力いただきました。

また、在校生の皆さんに対しては、野球定期戦や体育大会での応援団復活に向けた指導や援助、自学自習用「限界突破ノート」の提供、北海道浦河町で戦時中の先輩方の援農を体験する「北海道研修」の実施など、学校と協力しながら母校の教育力向上にも取り組まれました。

会の運営に当たっては、今後の在校生数減少による運営費の収入減を見越され、会報紙の発行を発案されました。今回で会報紙の発行も5回目を数えることとなり、本事業もようやく軌道に乗ってきたところです。

会長を退かれた後も、相談役として折に触れアドバイスをくださるなど、同窓会と母校の発展をいつも楽しみにしておられました。

ここに生前のご厚情に深謝いたしますとともに、ご冥福を心よりお祈りいたします。

編集後記

総会も二年連続で中止となり、以前のような集まりが出来なく寂しい限りです、ただ当番幹事の努力のおかげで広告や寄付を集めていただき心より感謝いたします。

南薫会会報も5回目に入り、積極的に協力していただける卒業生が増えてきました。小倉南高校の現状と北九州市に密着した内容を提供しようと思っております。今後とも皆様のご協力をお願い致します。

広報委員長 浜野 一俊